

ジュニア・プログラミング検定とは

プログラミングを学ぶ子どもたちを対象とした資格試験です

Scratchを活用したプログラミングスキルを測定し、その能力を証明・認定します。子どもたちのプログラミング教育の指標となる到達目標を定め、段階的なプログラミングスキルの習得を支援するための試験です。

試験はGold、Silver、Bronze、Entryの4種類

試験はGold、Silver、Bronze、Entryの4級種に分かれています。学習の進捗度に合わせて受験級を選択できます。

習得できる3つのチカラ

論理的思考力

子どもたちはプログラミングを進める中で、順序立てて物事を考え、原因と結果の関係を発見していきます。その体験の繰り返しで、論理的思考力の育成につながります。

問題解決力

子どもたちは“思った通りに動かない!”とき、トライ&エラーを繰り返します。どこに間違いがあるかを根気強く探し出すことで、問題を解決していく力が身に付きます。

創造力

試験問題の解答を通じて、“こうしたらどうだろう?”“こうなったら面白いな!”といったたくさんのアイデアが子どもたちの頭に浮かんでいきます。豊かな発想力を育成します。

試験内容

| | |
|-------|---|
| 主催・認定 | サーティファイ 情報処理能力認定委員会 |
| 試験名 | ジュニア・プログラミング検定 Scratch部門 |
| 試験目的 | プログラミング的思考力を定着させ、その知識を土台とした創造の可能性を広げる。 また、子どもたちの成長を段階的に評価することで、自信や達成感につなげ、さらなる目標に挑戦する意欲を育てる。 |
| 認定基準 | <ul style="list-style-type: none">◆Gold (1級) 複数の条件や筋道を組み合わせた論理的思考ができる。また、複数の条件分岐や演算、入れ子構造のスクリプトなどを使って、様々なスプライトを連動させたScratchプロジェクトを作成することができる。◆Silver (2級) 基本的な条件や筋道を用いた論理的思考ができる。また、複数の条件分岐や入れ子構造のスクリプトなどを使って、少数のスプライトを連動させたScratchプロジェクトを作成することができる。◆Bronze (3級) 単純な条件や筋道を用いた論理的思考ができる。また、条件分岐や繰り返しなどのスクリプトを使って、少数のスプライトを連動させたScratchプロジェクトを作成することができる。◆Entry (4級) 入門レベルの特定の条件や筋道を用いた論理的思考ができる。 また、条件分岐や繰り返しなどのスクリプトを使って、一つまたは二つのスプライトを連動させたScratchプロジェクトを作成することができる。 |

| | |
|------|--|
| 合格基準 | 得点率が60%以上 |
| 試験時間 | Gold : 50分、Silver : 40分、Bronze : 40分、Entry : 30分 |
| 対応言語 | Scratch2.0および3.0 ※Scratch1.4は非対応 ※Scratch3.0は2019年4月開始 |

掲載している情報は2019年1月31日時点のものです。最新情報はサーティファイホームページをご確認ください。
URL : <https://www.sikaku.gr.jp>

試験で使うもの

試験では、以下が用意されています。

| | |
|---------------------------------------|---|
| 試験問題 | 試験問題指示が書かれています。実際の試験では印刷した問題用紙が配られます。 |
| 解答ファイル (例 : E_S_かいとう.sb2) | 試験時に受験者が解答していくScratchファイルです。なお、ファイルには、試験中に使ってよいスプライトやスクリプトなどがあらかじめ入っていることがあります。 |
| お手本ムービーファイル (例 : E_S_おてほんムービー.mp4) | 問題にすべて正しく解答したScratchプロジェクトの動作を、動画にしています。試験中にいつでもみることができます。 |

試験問題の構成

| 種類 | Entry (4級) | Bronze (3級) | Silver (2級) | Gold (1級) |
|---------------------------|------------|-------------|-------------|-----------|
| ①問題指示の通り、スクリプトを作成する。 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| ②問題指示の通り、スクリプトを修正する。 | なし | なし | ○ | ○ |
| ③自由にスプライトやスクリプトを作成し、説明する。 | ○ | ○ | ○ | ○ |

試験での注意点

- あやまってScratchプロジェクトを共有することを防ぐため、試験の際Scratchサイトでは必ずサインアウトしてください。このため、バックアップ機能（スクリプトなどを一時的に保存しておく機能）は使用できません。
- 自由にスプライトやスクリプトを作成する問題は、これまでの問題の指示とずれが出ないようにScratchプロジェクトを作成する必要があります。これまでの問題の指示とずれが出る場合は、採点時に減点されることがあります。
- 解答したデータが消えることを防ぐため、こまめにScratchプロジェクトを保存してください（Webブラウザ版のScratchを使用している場合、「手元のコンピューターにダウンロード」で保存します）。
- 試験問題の「使うブロック」に書いてあるブロックは、使うとスクリプトが作りやすいものが書かれていますので、参考にしてください。